

えのもとだより



院長 榎本 泰三

あけましておめでとうございます。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

令和3年12月現在、新型コロナウイルス感染者は激減し、日常を取り戻しつつあります。しかしその一方、南アフリカで見つかった新たな変異株「オミクロン株」の国内感染者の報告が増えています。非常に感染力が強く、全世界で広がりを見せていますが、詳細がわからないのが現状です。このような状況ですが、今年に入り、新型コロナワクチンの3回目の追加接種が始まります。医師会の指示のもとにスムーズに行えるよう努めて参ります。また奈良県のホームページに発熱外来認定医療機関であることを公表し、通常の外来診療と並行しながら発熱患者様に対し、引き続き感染対策を徹底した上で院外駐車場にて診察して参ります。

さて昨年を振り返ってみますと、

4月 看護師・看護補助のユニフォームを一新しました。白と紺で統一し、すっきりしたデザインで機能性に優れています。

6月 駐車場の舗装を修復し、水はけがよくなりました。

7月 循環器内科の非常勤医師：岡村先生が退職され、後任の寺崎先生が着任されました。引き続きよろしく願いいたします。

9月 レントゲン室の透視台装置を新しく入れ替え、機能面と安全面が向上しました。また AI 機能搭載の最新内視鏡システムを奈良県では2番目に早く導入しました。粘膜の観察時に異常を感知し、質的診断や見落とし防止において非常に有効です。お陰様で昨年は胃内視鏡検査が約 800件、大腸内視鏡検査が600件以上の検査件数となりました。

10月 待合室に2カ所、世界最強レベルの Airdog 空気清浄機を設置し、環境整備に一翼を担っています。

榎本医院は常に患者様目線で、寄り添った医療を提供して参ります。皆様が安心して毎日を過ごせますように榎本医院のスタッフが一丸となり、日々努力していく所存です。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

名誉院長 榎本泰久

新年あけましておめでとうございます。令和4年が始まりました。

新年を迎え新たな気持ちで頑張ろうと思います。私は今年のクリスマス伊ブで満86歳になりましたが、幸い健康に恵まれ、病気のために休診した日はほとんどありません。人とお会いし話をすることが大変楽しく、喜びを感じております。

今年の胃がん検診は、御所市・五條市・高取町・大淀町・下市町・川上村の6市町村に増え、胃内視鏡検査は800件近くになり、重責を感じ身の引き締まる思いです。県立医大での症例検討会には必ず出席し、コロナ禍で会場での勉強会は減りましたが、WEBによる講演会は可能な限り拝聴し、日進月歩の医学に後れを取らないよう勉強しております。

今後も地域医療を守り、引き続き真摯に取り組み、精進していく所存です。

今年も皆様方がお元気で幸せな日々を送られますようお祈りいたします。



FUJIFILM
Value from Innovation

AIが見つめる、内視鏡検査の未来

がんの早期発見・早期治療のために
内視鏡検査を受けましょう

検出支援モード

確かな内視鏡検査を支えるAI技術

鑑別支援モード



Nexium Online Symposium in Nara

2021年6月21日(月)
19:00~20:00

司会 榎本 泰三 先生 医療法人榎本医院 院長

講師 川田 啓之 先生 徳島大学医学部消化器内科学講座 消化器内科学センター 部長

『心不全治療と消化管粘膜障害のマネジメント』

奈良慢性便秘症WEBセミナー

2021年2月4日(木)
19:00~19:50

※本講演は、ネット回線を利用したWEB講演会となります

19:00~19:45
開会 医療法人 榎本医院 院長 榎本 泰三 先生

19:45~19:50
閉会 医療法人榎本医院 大和榎原病院 名誉院長 藤本 真一 先生